

Truth

[トゥルース]

富山のスポーツの
真実を伝える

2018 秋号
アスポとやま
¥0 Takefree

vol. 15

富山初のスポーツマガジン

新たな戦いの場で 100%の力を出し切りたい



バレーボール
KUROBE アクアフェアリーズ
コーナー・レーシング
浦田 樹里

スポーツくじ



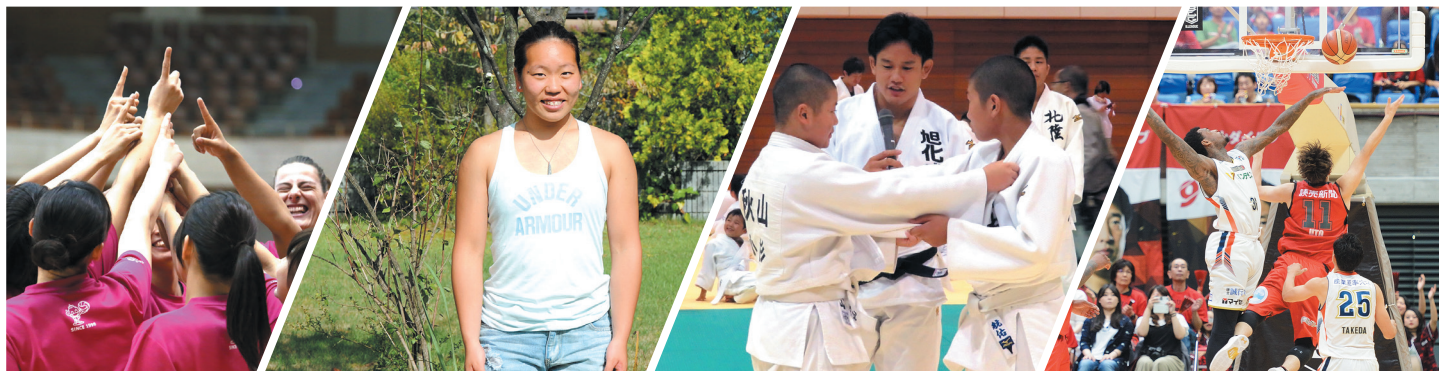
スポーツ振興くじ助成事業

ほおぼる
幸せ。



ほおぼる幸せ。

富山米



Truth

【トゥルース】
VOL.15 富山のスポーツの真実を伝える
秋号

ホームページもご覧ください!!

KUROBE
AQUAFAIRIES

Jyuri Urata

TOYAMASPORTS
THREE TEAM

TOYAMA
SPORTS
MESSAGE BOARD

SPECIAL FEATURES

- 02 バレーボール・KUROBEアクアフェアリーズ
V1リーグの舞台に挑戦
丸山貴也監督「TOYAMAを発信したい」
- 04 カヌー/レーシング・浦田樹里
今春から単身、NZで修行
世界レベルを実感、東京五輪へ闘志
- 06 富山を合宿のメッカに
スポーツによる「地域貢献」
- 07 小杉高校柔道部が60周年
田知本愛らが教室、祝賀会も

富山のプロチーム3球団のリアル情報

- 08 野球
富山GRNサンダーバース
「投球の幅が広がった」乾真大投手
- 10 サッカー
カターレ富山
上位進出へ士気高く
- 12 バasketボール
富山グラウジーズ
新シーズンがスタート
- 14 富山のスポーツ伝言板
スクラム釜石・石山さんが講演/元実業団ランナーが指導

※皆様からの耳寄り情報お待ちしております!

★★★ Famichiki ★★★

ファミチキ

HOT!



FamilyMart ファミリーマート 検索

問合せ先/ファミリーマート富山東営業所・富山西営業所・高岡営業所 Tel.076-422-9575

県内のファミリーマートで「Truth」を配布いただいています!

「Truth」の配布にご協力いただいている店舗・事業所などは次の通りです

あおき接骨院、KHEIR(ケイル)、スポーツドームエアーズ、ボンジュールSAKATA富山駅前店、いっぽ堂、スポーツショップランナー、ノン・ビリィ、山内武道具店、カフェ ジャック ラビット スリムス、アピアスポーツクラブ、西能病院、JSS富山インドアテニススクール、うな富、ビッグエッグ、ベースボールハウスMVP、すき焼 はやし、バイエルンスポーツ、栄寿し、居酒屋酔虎伝、松長接骨院、竹接骨院、奥田接骨院、原接骨院、ヘアサロンみずほ、いなみ木彫りの里 創遊館(道の駅 井波)、ねむり家、MUSCLE GYM TOKYO富山店、娘娘餃子、ステーキ すず屋、高岡ワイン倶楽部、LIXILリフォームショップ ユニテ、Mag Haus、カフェ ゴッコ、ハウディーキオスクマーケット1931、ゴールドカレー富山豊田店、curry&bar nine、遊さん、万里摩理(マリーマリー)、Trattria La Luce、浅川接骨院、寿司正、榎カフェ、おき接骨院、村上接骨院、ヤマヒデホーム、らんぶる、スポーツ&コンディショニングセンターPOSS.、山田書店、富山空港内の喫茶Wingとカードラウンジらいちょう、らーめん菜館はじめ、moohno(モーノ)、山町茶屋、こやま接骨院、香華楽、ベースボールハウス スタジアム、Beato (順不同)

このほか、富山県内のスポーツ・文化施設、公共の窓口、スポーツ団体の事務局、総合型地域スポーツクラブの事務局などで配布いただいています。NPO法人Tスポとやまは、「Truth」の配布にご協力いただける事業所・店舗などを随時、募集しております。

弾けるアイデア
固まる信頼

ゆるみ止め加工されたネジ、ボルトは
こんなところにも使われています

NISSEI TECHNICA
株式会社 ニッセイテクニカ
www.nissei-tc.com

富山発のスポーツメディア

Truth

NPO法人 Tスポとやま 富山初のスポーツマガジン「Truth」発行・運営
TEL:080-3461-5959 E-mail:nisennen@tspotoyama.com
ホームページ:http://tspotoyama.com/ Facebook:https://www.facebook.com/tspo.truth

初参戦のV1に挑む新指揮官

丸山貴也監督「厳しい戦いは覚悟。KUROBEとTOYAMAを発信」



KUROBE AQUA FAIRIES

11月開幕、目標はトップ8

V1リーグへ初参戦するKUROBE Aqua Fairiesの丸山監督に抱負を伺った。温和な口調でまず語ったのは「厳しい戦いになる」。トップリーグ経験者は久光製薬から移籍した浮島と南のみ、高さとパワーがワンランク上のトップリーグで戦うには、戦力不足は否めないのは明らかで、丸山監督は守って攻める、拾ってつなぐことから戦わざるをえないという。

「目指すチームはありますか」との問いに、少し悩んであえて例に挙げたのは高校バレーのようなチーム。決定力のある突出した選手がいなくてもチームとしては強い、結果的に勝っていく。そのため、選手には自分のこれだけはできるというプレーをしつかりやりなさいと言っている。

私の役割は、選手のいいところを引き出し、それをうまく組み合わせてチーム力にすることだと思っている。11月から来年2月までのレギュラーシーズンでは、トップ8に入るのが目標になる。Vチャレンジリーグから二階に昇格した岡山、PFUには勝ちたいと思う。コートで二生懸命プレーする姿を見てほしい。

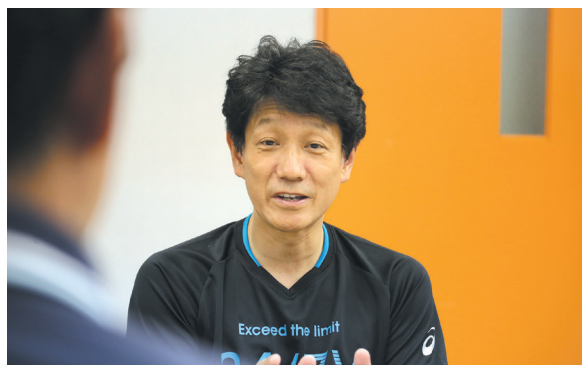
日立、小田急で指導にあたる丸山監督だが、いずれも休部の憂き目にあうなかで、業績に左右される1企業のチームではなく、地域の複数の企業によって支えられているアクアは、V1リーグにおける理想的なチームだという。アクアの選手は、午前中は所属企業で仕事、午後から練習が基本となるが、「選手のセカンドキャリアのことを考えても仕事とバレーの両立は大事だ」と話す。

バレーボール人生の集大成

今後さらに地域に根差すには、地元出身のスター選手が必要だと感じている。今はないが、地元出身選手を積極的に獲得していくつもりだ。アクアでの監督は私のバレーボール人生の集大成だと思っている。

聞き手・文 松井 克仁
写真 KUROBEアクアフェアリーズ
金森 正晃

まるやま・たかなり 長野県出身、57歳。筑波大卒業後、日立製作所に入社。女子バレーボールチームのコーチに就任。同年、ロサンゼルス五輪の全日本女子チームアシスタントコーチとしてチーム強化に携わり銅メダル獲得に貢献。1987年より12年間、小田急女子の監督・コーチとしてチームの強化に携わる。



妖精たちの決意

●新外国人選手・フレヤ

アクアに今季から加入した新戦力が、ベルギー代表のフレヤ・アールブレヒト選手(28)。186センチの長身から繰り出す強力なスパイクと高さのあるブロックでチームの得点源として期待されている。背番号は19で、コートネームは「フリー」。

フレヤ選手は、「アクアは自分らしい自分でいられるいい雰囲気ของทีม、ダイナミックなプレーをみせたい」と意気込みを語ってくれた。



●キャプテン・丸山紗季

キャプテンをつとめる丸山紗季選手は、フレヤ選手が合流して2週間が過ぎ、「全員がコートに立ちたときに活躍できるチームになっ

てきている」と仕上がりに手ごたえを感じていた。初参戦のV1の舞台への意気込みを問うと、「本当に厳しい戦いになると思うが、ディフェンスをベースに全員で1点を取りに行く、目標はトップ8入り、やるしかないと思ってる」と力強く語った。



- ①丸山 紗季 (北星コム)
- ②倉見 夏乃 (YKK AP)
- ③和才 奈々美 (富士ゼロックス)
- ④馬場 ゆりか (銀盤酒造)
- ⑤白崎 麻友香 (丸八)
- ⑥綿引 菜都美 (YKK AP)
- ⑦雪丸 梢 (アイザック)
- ⑧南 美寿希 (トヨックス)
- ⑨舛田 紗淑 (第一建設)
- ⑩菅野 菜緒美 (YKK)
- ⑪平谷 里奈 (北星コム)
- ⑫浮島 杏加子 (YKK AP)
- ⑬小西 愛衣 (新和工業)
- ⑭フレヤ・アールブレヒト (YKK)



KUROBEアクアフェアリーズ ホーム戦日程

月	日	対戦相手	会場
11月	17日(土)	15時~ NECレッドロケッツ	YKK体育館
	18日(日)	15時~ デンソーエアリービーズ	YKK体育館
1月	5日(土)	15時~ JTマーヴェラス	黒部市総合
	6日(日)	15時~ 埼玉上尾メディックス	黒部市総合
2月	9日(土)	15時~ 久光製薬スプリングス	黒部市総合
	10日(日)	15時~ JTマーヴェラス	黒部市総合

(試合時間は変更になることがあります。詳細は KUROBE アクアフェアリーズ公式サイトで確認ください)

20年の節目に念願結実

西川友之県バレーボール協会会長



2000年とやま国体に向けて、1998年に発足したKUROBEアクアフェアリーズ。結成当時からチームを見守ってきた県バレーボール協会の西川

会長は、「ここまでくる(トップリーグ昇格)までに20年かかった、試行錯誤のなか、着実に進んできた結果だと思ってる」と話した上で、協会として富山のトップランナーと位置づけるアクアへの期待を感慨深く語ってくれた。

Vリーグの多くが大手の企業チームであるなかで、アクアは、黒部市を拠点に地元複数の企業が支援するクラブチームのスタイルで強化を進めてきた。V1昇格を目指すなかで、このまま継続するのかしないかの議論もあったが、プロ化への第歩として、より地域に根ざす方向へ動き出したVリーグの改革がアクアにとっては好機となったと思っている。

トップリーグV1のチームが誕生したことは、富山からナショナルチームに選手を輩出することが現実味を帯びてきたことを意味している。東京五輪に出場する選手が出てくることを期待したい。

アクアは、旧チャレンジリーグから新V1リーグに新規参入することになる。旧プレミアリーグ経験がないので、新V1リーグでは厳しい戦いになると思うが、丸山新監督の丁寧な指導により、各選手のレシーブ力が改善されボールがつながるようになってきた。ラリーを制する多彩な攻撃が見られるようになってきた。まずは、トップ8に入れる力をたくわえていってほしいと思う。

富山には2019年9月にワールドカップバレーもやってくる予定だ。V1の試合とともに、一流選手のプレーを間近で見られる機会が二気に増えるので、協会としても県内のバレーファン、競技人口の拡大につなげていきたい。アクアではファンクラブの新規加入者を募集している、より多くの方々の支援を期待している。

世界のレベルを実感 単身、NZでカヌー修行

浦田 樹里

今春、水橋高を卒業した後、単身でニュージーランドに渡った浦田樹里選手。5カ月がたち、9月に二時帰国した。2020年東京五輪を目指し、大学進学ではなく、海外でカヌーに打ち込むことを決断した彼女は、何を待たのだろうか。

■充実の練習環境
——ニュージーランド・オークランドでの生活には慣れましたか？
現地では、チームメイトの家にホームステイをさせてもらっています。毎朝5時に起きて朝は2時間から2時間半、夕方に1時間半から2時間、近くのプケ湖で練習し、日中は語学学校に通っています。
生活のリズムには慣れましたが、仲間との会話にすぐ反応できず、英会話には、正直、まだ苦労しています。所属するノースシユア・カヌークラブは、五輪のメタリストを多数輩出していて、同年代の選手は、みんな五輪でのメダル獲得を目指しています。

■持久力がついた
——練習で日本との違いは？「世界のレベル」を感じますか。
日本にいると500メートルで2分の壁を感じていましたが、チームメイトは、1分55秒を基準に置いています（浦田選手の自己ベストは1分59秒）。これが世界を目指すレベルなんだと、とても刺激になっています。
日本ではあまりやらない長距離を漕ぐ練習が多く、少ないパドル数で、いかに長い距離を進むことができるかを意識して取り組んでいます。最初は置いていかれていましたが、今はなんとかついていけるようになりました。持久力は、かなりついたと思います。

■メタリストが身近に
——クラブには、あこがれの選手がいるんですよね。
実は、クラブでは、あこがれのニュージーランド代表であるリサ・キャリントン選手（ロンドン五輪、リオ五輪の金メタリスト）の艇を借りて練習しています。リサ選手と一緒に漕ぐ機会もあって、その

オーラを感じたときに、近くにあこがれの選手がいるのは大きいなと思いました。リサ選手のすごさはオンとオフの切り替えがはつきりしていることです。最初から攻めて、中盤で一気に突き放す彼女のレーススタイルは自分の目標でもあります。

■成長を実感
——二時、帰国した時に、日本選手権（9月7〜10日・石川県）に出場したそうですが、結果はどうでしたか。
シニアになって、初めてのレースでしたが、1000メートルで、後半追い上げて3位になったのは、海外で長い距離を漕いだ成果が出たと思います。今回のチャレンジは、確実にプラスになっていると思うので世界で戦えるようになるまでには、ニュージーランドにいたいと思っています。

■東京五輪でメダルを
——今後の意気込みを、お願いします。
まずは、来年3月のナショナルチームの最終選考で、基準タイムをクリアするレースができるようになる必要があると思っています。今は、後半までスピードの維持ができないことが課題です。タイム的には、200メートルで42秒、500メートルで1分55秒を目標にしています。ヨチからは、すぐにそこに行く必要はないので、段階を踏んでいけばいいと言われているので、焦らず、頑張っていきたいと思っています。

——2年後の東京五輪に向けては、ニュージーランドに行く前、「東京五輪でメダルを取る」という目標は、漠然としていましたが、メタリストと練習するなかで、「自分もそうなりたんだ」とあらためて思いました。目標は2020年東京五輪でメダルを獲得ということ。変わりはありません。



Jyuri Urata



うらた・じゅり 1999年12月14日生まれ、上市町出身。18歳。上市中、水橋高卒。今春、水橋高校卒業後、単身ニュージーランドに渡り、ノースシユア・カヌークラブに所属しトレーニングに励む。国体で2015、16年とK2（500メートル）2連覇（高校1年、2年時）。17年アジア選手権（ジュニアの部）のK2（200メートル）で優勝、K1（500メートル）2位。富山県体協の「未来のアスリート発掘事業」修了生（6期生）。161センチ、61キロ。

聞き手・文 松井 克仁
写真 浦田 樹里、若林 朋子

スポーツによる「地域貢献」

同志社大アメフト部 誘致補助「第二号」

富山を夏合宿のメッカにして地域活性化につなげる。

そんな思いで、同志社大アメリカンフットボール部の合宿を富山市に誘致したのは12年前。当時、富山市が合宿誘致の補助事業をスタートさせ、その適用の「第一号」だった。以来、アメフト部の来富が増え、今年も京都府立大、愛知大、岐阜大、金沢大が訪れた。地元富山大を含め、互いに合同練習を組み、今や富山が北陸におけるアメフト合宿のメッカになりつつある。

富山→羽田便の 利用促進策で誘致

そんな中、8月3日から、慶應大男子ラグロス部が初めて富山市の県総合運動公園で夏合宿を実施した。富山県は北陸新幹線の開業以降、利用者数が落ち込んでいる富山→羽田便の利用促進策として、航空運賃の一部を助成する制度を立ち上げ、その適用「第二号」として誘致したので。

慶應大は、昨年の大学チャンピオンで、部員は総勢155人。飛行機、バス、車で富山入りした。車で移動できる距離であること、天然芝の広大なグラウンドでの練習が可能、貸切りでの宿

文・写真 松井 克仁

泊などが決めてとなり、合宿地として選んだという。部員が多く、普段は別々の場所での練習することが多いため、「今回の合宿では、1か所で一緒に練習ができたことは、とても良かった」と主務の大高直人さんは話してくれました。

慶大に続き関大 男子ラグロス部も

また、慶應大と練習試合をする目的で関西大男子ラグロス部が富山へやってきた。常願寺川公園で8月1日から5日まで練習し、4日には慶應大との練習試合を行った。関西大は桃山学院大とも練習試合を行っている。二つの強豪チームが来ることで、複数の大学が追随した。波及効果が生まれたといえる。

長年、富山合宿誘致に携わるなかで、大事なものは、相手のニーズの先読みとそれにいかに応えるかだと思っている。その意味では、富山が大学で人気のラグロス合宿のメッカになる可能性も十分にありえると思う。

2020年東京五輪・パラリンピック開催まで2年を切った。開催機運が盛り上がる一方で、スポーツ界では、その後の経済的支援について不安の声も聞く。そうした不安をなくするためには、スポーツが地域にとつて必要不可欠であることをもっとアピールしていく必要がある。合宿誘致をひとつの例に、今こそスポーツができる地域貢献についてもっと考えていくべきではないだろうか。

富山を合宿のメッカに

合宿は、長く滞在することで、宿泊費以外にも、移動するための交通手段、昼食の弁当、水の調達、練習着の洗濯など、地元業者へ確実にお金が落ちる要素が多い。観光に比べて経済効果は高く、全国的にも地域活性化策として各地で誘致活動が年々、活発化している。



富山においても今年の成果を着実に来年につなげる必要がある。私は、

ニーズを読み、どう応えるか



笑顔咲く旬菜



癒しの景観



伝統ある温泉宿へ。

開湯千三百年の名湯 山田温泉

富山の奥座敷 山田温泉「玄猿楼」の湯は遠く古の時より、こんこんと湧き出る薬湯として知られている。体の疲れや筋肉疲労をとる天然温泉です。

玄猿楼

富山市山田湯1017 TEL/076-457-2121



小杉高校柔道部 60年の節目を祝う

田知本愛・海老・緒方選手が教室、祝賀会も

60周年は通過点

津田柔友会会長

近年の柔道人口の減少には、危機感を覚えている。柔道部の60周年は、脈々と続く歴史の通過点。今後小杉高校柔道部の伝統と「小杉魂」を継承しつつ、少年柔道の普及・振興の普及・振興に関係者一丸となつて取り組んでいきたい。

保護者会は日本一

高波男子監督

うちの保護者会は日本一の。合宿での世話などに感謝している。また、トレーニングコーチの磯谷佳世さんの指導、けがをしにくい体作りができるようになった。卒業後は恩返しとして、地域や社会で活躍してほしい。

支えられてきた

OG・田知本愛さん

柔道を通じて、たくさんの人に支えられてきた。活躍すれば多くの人が喜び、苦しいときは多くの人が励ましてくれた。柔道をしていなければ気づかなかったことがたくさんある。これまでの応援に感謝の思いを抱いている。



柔道のまち・小杉

橋川県柔道連盟会長

小杉高校柔道部は「柔道のまち・小杉」を代表する存在として、全国の柔道ファンに認知されるようになってきた。市町村合併で「小杉」という町名はなくなったが、校名は残っている。今後も存在感が増していくことを願っている。

柔道人口を増やす

細呂木女子監督

部員・指導者・保護者が一体となつて伝統を維持している。高校の3年間で技術・体力・精神力・礼儀作法などが身に付く。それらをもとに、小・中学生に柔道の楽しさを伝えてほしい。

故郷に感謝伝えた

OG・田知本愛さん

リオ五輪で金メダルを獲得したときは、感謝の気持ちしかなかった。故郷での祝賀会やパレードではお世話になった方へ、感謝の思いをお伝えした。今後は柔道ファンが増えることを考える指導者になるために学んでいきたい。

24時間365日、富山を見守り続けます

富山県総合警備保障
☎ 076-443-5888
〒930-0873 富山市金屋2715-10
http://www.toyama-alsok.co.jp/

伝統ある温泉宿へ。

開湯千三百年の名湯 山田温泉

富山の奥座敷 山田温泉「玄猿楼」の湯は遠く古の時より、こんこんと湧き出る薬湯として知られている。体の疲れや筋肉疲労をとる天然温泉です。

玄猿楼

富山市山田湯1017 TEL/076-457-2121

投球の幅が広がったと実感

今季の富山GRNサンダーバースは伊藤智仁氏を監督に迎え、西地区後期で優勝を果たした。巨人から加入した乾真大投手は、新たな気持ちで野球と向きあい、野球が得意なことへの感謝を持ち続け、大きく成長を遂げた。NPB(日本プロ野球機構)へ戻ることを一心に願って。



富山GRNサンダーバース 乾真大投手



いぬい まさひろ 1988年12月8日生まれ、兵庫県出身。東洋大学姫路高(兵庫)、東洋大卒。2010年のドラフト会議にて北海道日本ハムファイターズから3位指名を受け入団し16年に交換トレードで読売ジャイアンツへ。17年に戦力外通告を受け、18年から富山でプレーしている。175センチ、84キロ。左投げ、左打ち。

実戦を観察してから基本を指導

「伝説のスライター」が今も語り継がれる伊藤智仁監督の直接指導を受けたと小矢部市内のスポーツ少年団などで構成する実行委員会が企画した特別キャンプは8月7日、小矢部球場で開催された。石動植生、津沢、大谷、東部のスポ少から35人が参加、富山GRNサンダーバースからは、伊藤監督、後藤庸輔投手、川名大輝投手、佐野弘幸捕手、強史内野手、金子将太外野手が参加し、指導にあたった。

午前中は、クロスランド(大谷・東部)とメル(石動植生、東部)の混合チーム同士による交流試合を行い、伊藤監督が観戦、選手の試合中の動きを観察した。

午後からのクリニックでは走塁、キャッチボールの基本についてサンダーバースの選手が手本を示し、伊藤監督が指導した。キャッチボールは相手の胸目がけて投げることで、1球1球を立つことからはじめて丁寧に投げることで、捕る側もしっかり足を動かしてボールの軌道に入ってから捕球することをポイントとして挙げた。

続いて、バッテリ、内野、外野に分かれて、より実戦に近い形で指導した。ピッチングでは伊藤監督が試合での投球を踏まえ、投げ方の修正ポイントを選手に直接アドバイス、指導者も熱心に聴き入っていた。

最後は伊藤監督自らがバッティングピッチャーとなり、児童と対戦。「スライターもお願ひします」という選手もあり、伊藤監督は笑顔で対戦を楽しんだ。

キャンプを終えて

■伊藤智仁監督 きょうは、野球の基本プレーをしっかりと教えた。小学生は、まだ体ができていないし、基本さえしっかりしていれば、あとは伸びると思っている。上達するにはレベルの高いプレーを見ることも大切。最近ではテレビのプロ野球中継が少ない。子どもたちにはもっと球場に足を運び、富山サンダーバースのプレーを見てほしい。そして

富山サンダーバース伊藤監督プレゼンツ 夏休み特別キャンプIN小矢部

文・写真 松井克仁



◆主催/小矢部ベースボールプロジェクト実行委員会 ◆共催/小矢部市スポーツ少年団野球部会 ◆協力/NPO法人Tスポとやま ◆協賛/清水樹脂、小倉接骨院、中元組、永山板金、前田建設、北陸中日新聞石動専売所、駒津石油商会、あおい接骨院、中田酒販

●投球スタイルの変化
NPBでの乾の投球は、ストリートとスライターの勝負する力強い投球スタイルだった。もちろんその良さは健在だったが、独立リーグに来てからは変化球を交えた投球スタイルに変化を遂げた。

NPBで思うような結果を出せなかったことから、「今までと違った投手になる」と決断した。シーズン当初から試し始めたのはツーシーム、シンカー。カーブも精度を上げ、後期が始まるころから十分勝負できるようになったという。後押ししてくれたのは伊藤監督だった。「打たれてもいいからやりたいように挑戦してみろ」と励まされた。

●求められた役割
入団の際、乾は永森茂球団社長から「若手へのアドバイス」を求められていた。本人も「自分が経験してきたことで参考になれば」と、その意を酌んで、助言を惜しまなかった。いつ聞かれてもいいように、自分の経験や考え、知識をまとめること。休日や1人の時間でも常に野球のことが頭から離れない。メジャーリーガーの投球やトレーニング方法を動画で見て参考にした。

野球について一番考え、行動したシーズンだった。これが修正につながり、頭の中を整理してからマウンドに上がることができるようになった。気持ちの面でもゆとりができた。投球の幅が広がった。

▼石動植生/館大翔主将 楽しくて面白かった。ピッチャーのときに足を平行にして投げるように言われたことが印象に残った。

▼津沢/川口運主将 走塁やキャッチボールの基本を教えてもらったのがよかった。

▼大谷/中川結仁主将 なかなかできない体験。伊藤監督はたくさんを知っていて、ためになった。

▼東部/宮田幸和主将 伊藤監督の指導は優しく分かりやすかった。ピッチングの時に足をまっすぐ踏み出すように言われた。

で、プロ野球選手になりたい、甲子園に行きたいという夢や目標を持って野球に取り組んでほしい。地域貢献は我々の責務でありBCリーグを盛り上げるためにも必要だと思っている。今後このような活動には取り組んでいきたい。

聞き手・文 土田 由香里
写真 富山GRNサンダーバース、若林 朋子



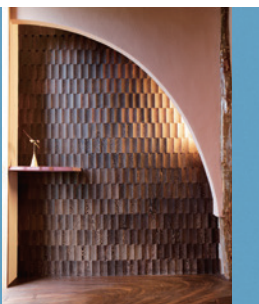
富山での挑戦の証し

「1年でNPBへ戻る」という目標を掲げてシーズンに臨んだ。大学時代以来、8年ぶりとなる先発に当初、不安はあった。しかし、挑戦は大きな成長につながった。7月12日、古巣・巨人の3軍との試合。お世話になった方がいる。マウンドに上がった乾は、あえて変化球中心の投球で挑んでいた。「富山でやっていたことの証明」がそこにあるからだ。

今季の成績は14勝4敗、防御率は2.28。チームの大黒柱として活躍した。若い選手が多い中で、乾の存在は大きく、チーム全体の成長の一役となった。12月で30歳を迎える乾、「野球について、やっと理解し、考えられるようになった1年だった」と振り返る。「ただ一生懸命に野球に取り組む時間を富山で、選手皆でできて良かった」と感じている。そこには、純粋に野球を楽しむ少年のような姿があった。

来季はどんな思いで?

乾は全日程が終了した後もコンディショニングを整え、技術面の確認などを重点にトレーニングを積んだ。野球ができることに感謝しながらの1年を終え、来季はどんな思いでプレーするのか?



富山の熟練した大工が手掛けた、
銘木を贅沢に使った家。
その素晴らしさと感動の空間を是非ご体感下さい。



ヤマヒデホーム/株山秀木材 ☎ 0120-707-714 | http://www.yamahidehome.co.jp
本社 〒932-0212 富山県南砺市山斐188 TEL(0763)82-0428 FAX(0763)82-6670 トナミオフィス 〒939-1362 富山県砺波市錦島129-3 TEL(0763)32-7077 FAX(0763)32-7078
梅原工場 〒932-0212 富山県南砺市山斐188 ☎(0763)32-7077 東京ショールーム 〒145-0062 東京都木田区北千束2-3-2 マルト三ホーム内 ☎(03)6459-5988 秀夢木業館 〒932-0212 富山県南砺市山斐184-2 ☎(0763)82-5585
製材工場 〒932-0212 富山県南砺市山斐188 ☎(0763)82-0428 庄川集配センター 〒932-0312 富山県砺波市庄川町高橋新32-2 ☎(0763)82-5177



©KATALLER TOYAMA

上位進出へ 士気高く

カタレ富山は終盤戦に向けて調子を上げている。
選手たちは「残り試合全勝」を誓い、
最後まで上位進出を目指す。

文 赤壁 逸朗



こだわりの
熟成肉
あります。

3フロアの店内は広々ゆったりお食事ができます。
3階のパーティールームは結婚式の二次会やご宴会にご利用下さい。

Bistro du marché
GOZZONE

TEL 076-441-6002

富山県富山市内幸町1-8 内幸ビルB館
営業時間 【通常】 17:00~0:00 (L.O 23:00)
【金・土・祝前日】 17:00~1:00 (L.O 0:00)
定休日 年中無休

カタレ富山は10月7日の第26節を終了して通算9勝2分13敗・勝点29の11位。5月に安達亮監督が就任してからは7勝2分5敗と勝ち越しており、監督交代時の最下位から徐々に順位を上げてきた。しかし、J2昇格圏内である2位との勝点差は16。残り試合数が8となり、目標だったJ2復帰が難しい状況に追い込まれている。

3連敗で上位遠く

リーグ戦が夏の間断期間に入った7月下旬の第19節終了時点では残り14試合で2位との勝点差が12。中断明け初戦の第20節・福島戦（8月25日）を3-1で快勝して巻き返しへの期待がふくらんだ。しかし、次節からの3連敗が痛かった。首位の琉球をはじめ鹿児島、沼津、群馬など順調に勝点を伸ばした上位勢との差が再び広がった。

3連敗した第21節・F東京U23戦（0-1）、第22節・北九州戦（1-2）、第23節・群馬戦（0-1）はいずれも押し気味に試合を進め数多く好機をつつた。シュート数は相手を大きく上回っている。しかしゴールに結び付かず、逆に隙を突かれて失点した。

安達監督は「チームとしてやりたいことができなくなってきただけに、この時期に3連敗するとは思ってもみなかった。勝負を分けたのはちよつとしたところ。実力が接近しているJ3の中で、ゲーム内容は良くなっているのに勝ち切れない。もしもサッカーに判定勝ちがあるならカタレは上位の順位にいるのだから、相手を仕留めるだけの力がまだ足りない」と話した。チームでは「チャンスで得点を奪い切る」「ピンチを守り切る」ために、「ゴール前でのプレーの質を向上させる」をテーマに掲げて練習しているが、まだ道半ば。勝利を目指して追求が続く。

練習の質が向上

3連敗の後、第25節・YS横浜戦と第26節・相模原戦で今季2度目の2連勝を飾った。選手



©KATALLER TOYAMA

はみな「残り試合は全部勝つ」と口にする。昇格の可能性はわずかになっても、終盤戦に向けてチームの士気は高い。「良いサッカーができていと思う。勝利と得点につながるのが課題だが、少しずつできるようになってきたので続けていきたい」とMF佐々木一輝。力が付いてきているという手ごたえがあるようだ。

「選手全員が同じ絵を頭に描きながら、偶然ではなく必然的にボールを動かしている」（安達監督）。これまで中心だったサイドアタックに加え、スルーパスやコンビネーションシヨンを使得つての中央突破にも磨きがかかり、攻撃のバリエーションが広がってきた。日々のトレーニングの成果がゲームに表れている。

安達監督は就任直後から「トレーニングの質を上げよう」と選手に訴えてきた。最近では監督自身、「きょうは良い練習ができた」と感じられる日が少しずつではあるが増えてきたという。キャプテンの今瀬淳也は「練習中のパス一本

若手多く伸び盛り

第26節の先発11人の平均年齢は24・73歳。これは同節で試合を行ったチームのうちU23の3チームを除くと2番目に若かった。21歳のMF新井瑞希とMF前嶋洋太、20歳のMF川上エドゥワジョン智慧をはじめ、まだ伸びしろが大きい選手が多い。残り試合でチームと選手個々がどこまで成長できるか注目だ。

首位を走る琉球をはじめ昇格を争っている上位チームとの対戦が多く残っていることもサポーターにとっては楽しみ。勝利を重ねて順位を上げ、カタレの存在感を示さなければならぬ。



©KATALLER TOYAMA

カタレ案内板

■最終戦で現在首位の琉球と激突

今季最終節の第34節では第27節終了時点で首位に立っている琉球とホームで対戦する。琉球は初優勝とJ2初昇格を目指しており、元日本代表の播戸竜二選手や富山第一高校出身の大塚翔選手らが在籍している。カタレが地元で意地をみせられるか注目だ。試合後にはシーズン終了のセレモニーも予定されている。

〈問い合わせ〉カタレ富山 電話076-461-5200

■11月以降のホームゲーム日程

第31節	11月11日(日)	14:00	vs沼津
第34節	12月2日(日)	13:00	vs琉球

※会場はいずれも県総合運動公園陸上競技場。時間は開始時刻。



富山グラウジーズからは葛原大智選手とコーチ、アランマーレからは大森聡監督、選手が参加、プロの技を交えながら指導しました。普段バスケットをしている子どもたちにとっては、ボールの大きさの違い、ハンドボールをしている子どもたちにとっては、シュート感覚の違いなどトップ選手のプレーから学ぶ体験は新鮮だったようで、随所で笑顔が見られました。参加者からは、「ハンドボールとバスケットボールを比べてみて、バスケットボールの方がボールが大きくて難しい」「ハンドボールを初めて体験して、難しかったけど楽しかった。またやってみよう」と、これからもスポーツを頑張りたい」という声が聞かれました。

指導した富山グラウジーズの葛原選手は「バスケットボールとは何か、どういったものが生まれるのかを知ってもらい、伝えるためにきょうは参加しました。子どもたちには、プロとの触れ合いの中で、プレーだけでなく姿勢も吸収し、自分のものにしてほしい」と話してくれました。

アランマーレの大森監督は「二つの競技はボー

グラウジーズとアランマーレがコラボ NEXT2020ボールパークプロジェクトinとなみ



文 富山福祉短期大学幼児教育学科2年
平井星蘭(ひらいせいら)
写真 金森 正晃

7月16日、砺波市の県西部体育センターで、「NEXT2020ボールパークプロジェクト」が開催。国内トップリーグで戦う富山グラウジーズとアランマーレからなる実行委員会が子どもたちに異種目を体験することで新たなスポーツの魅力を感じてもらおうと企画、小学生約150人がバスケットボールとハンドボールを体験しました。
【15Pに関連記事】



富山グラウジーズは10月6日、7日富山市総合体育館で中地区の横浜ビー・コルセアーズに圧勝し、初の開幕2連勝を飾った。

チームの核となるのはインサイドの覇者ジョシュアだ。京都ハンナリーズ時代よりもより大きなインパクトを与えている。ゴール下の圧倒的な強さに横浜は、ダブルチームで止めようとしますが、ボールを外に出して大塚、水戸のシネターに託す。困りなりチームを生かす動きで、攻撃の起点になり、チームの屋台骨となっている。ダンクが決まれば、会場の盛り上がりは、最高潮になる。お面になるほどの愛されキャラクターとしても人気だ。ここだけの話、公式体重は135キロだが、実際、150キロあると言われている。

忘れてはいけないのがドナルド・ベックヘッドコーチだ。ドナルドは、アメリカ、ベルギー、ドイツで実績をつみ、日本ではトヨタアルバルクの黄金期を作った実力者である。ドナルドは、スター選手に依存せず全員で戦うことを信条にしている。2戦目は、出場9選手が全員得点、全員が10分以上プレーしてどの組み合わせでも横浜を上回る完璧な内容だった。さらに3シーズン目にして初の百点ゲームをみせてくれた。Bリーグ開幕以降続けてきた残留争いは、もういらぬ。「赤い歯車」はしっかり噛み合っている。リーグ制覇が見えてきた。

富山グラウジーズの横嶋選手からは、「こうした取り組みをきっかけに競技は違ってもボールを介してお互いの会場に互いのファンが訪れるようになって、相乗効果で人気が出てくれることを期待している。ボールゲームが好きなら多いため、今よりもっと楽しんでもらえるように活動していきたい。」とコメントをいただきました。

今回の取り組みを取材して、2020東京五輪・パラリンピックに向けてスポーツの普及を通して、プロチームが連携していく中で、子どもたちにはたくさんのお話を聞きました。また、富山のスポーツを盛り上げ、スポーツ観戦を楽しむ文化の発展に向け、私たちも協力していきたいと思っています。

NEXT2020ボールパークプロジェクトを私達も応援しています。

たち建設株式会社 **砺波工業株式会社**



グラウジーズ始動！赤い歯車は止まらない！

富山グラウジーズ 11月以降のホーム戦

月	日	対戦相手	会場
11月	7日	川崎ブレイブサンダース	県総合
	17日	栃木ブレックス	富山市総合
	18日	栃木ブレックス	富山市総合
	23日	名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	県西部
12月	24日	名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	県西部
	12日	横浜ビー・コルセアーズ	富山市総合
	15日	川崎ブレイブサンダース	富山市総合
	16日	川崎ブレイブサンダース	富山市総合
	26日	シーホース三河	富山市総合

(試合時間は変更になることもあります。詳細は富山グラウジーズ公式ウェブサイトでご確認ください)

文 金森 正晃
写真 富山グラウジーズ



スポーツ伝言板

ここでは、県内の身近なスポーツの話題を紹介していきます！
あわせて皆様からの情報提供もお待ちしておりますので、詳しくは左ページ下記をご覧ください。

ラグビーを通じて 恩返しをしたい

スクラム釜石・石山さんが講演



県生涯スポーツ協議会指導者研修会は9月15日、富士市の県民会館で開かれ、スクラム釜石代表の石山次郎さんが「震災から7年 復興そしてラグビーW杯への思い」と題して講演した。指導者やラグビー関係者ら約120人が石山さんの話を傾け、来年に若手県釜石市などで開催されるラグビーW杯について理解を深めた。

石山さんははじめに、新日鐵釜石が強く、社会人ラグビーが全盛期の人気を誇っていた1980年代前半の写真を紹介。「海外遠征に行く機会も多く、その帰り道に観光して帰ってきたことも。新日鐵釜石に入ったおかげで、いろんな体験をさせてもらった。32歳まで現役を続け、引退してからはラグビーから離れた。東日本大震災が起ってから考えたのは、恩返しをしたいということ」と、釜石やラグビーへの思いを語った。

石山さんは2011年5月、ラグビーを通じて復興を支援するNPO法人「スクラム釜石」を立ち上げ、2019年に日本で開催されるW杯を釜石市へ招致しようと活動を始めた。施設などのハード面はマイナスからの出発だったが、「被災地である釜石市でW杯を開催する社会的意義がある」として東日本大震災からの復興を掲げた。W杯の関係者が開催候補地を視察した折には、スタジアムの建設予定地で大漁旗を振ってアピールしたことを紹介した。

若手県と釜石市が共同でW杯招致することが決まり、釜石鶴住居復興スタジアムも着工。石山さんは「何でもいから仕事をしたい」とスタジアム建設の元請けである大成建設に働きかけ、それまで勤めた会社を定年退職後に再就職し、建設の仕事に携わったことを述べた。

「かつての同僚のうち何人かが東日本大震災で亡くなり、チームメイトだった洞口（孝治）や神戸製鋼の平尾（誠二）は、志半ばで病に倒れた。直接、これまで受けた恩を返せない人も少なくないが、ラグビーで受けた恩を誰かに返していきたい」とし、「W杯は復興のための一つの手段。皆さんが笑顔になれることが最終的な復興」と述べた。

いしやま・じろう 1957年秋田県生まれ。能代工高（秋田）卒業後、新日鐵釜石製鉄所入社。新日鐵釜石の日本選手権7連覇（79〜85年）を支えた。ポジションはプロップ。80〜85年まで日本代表に選出。キャップは19。88年に現役を引退し、社業に専念。2012年4月から15年9月まで富山県内に赴任していた。NPO法人「スクラム釜石」代表。17年6月に定年退職し、大成建設へ再就職。釜石鶴住居復興スタジアムの建設に携わる。

笑顔が絶えない陸上クラブ

元実業団ランナーが指導

長距離の走り方を教えるクラスと聞いて練習場所を訪ねてみると、最初にみたのはバランスボールを使っているトレーニング、つづいて、縄跳び。走り出したのは、30分後。かつて実業団チームにも所属した守屋済美コーチは、全身を動かして、うまく体を使えるようにすることを重点に置いていると話す。参加しているのは小学5、6年生。このクラブに入った理由を聞いてみると「ライバルに勝ちたいから」「体力をつけたい」と思っている声が多かった。さらに水泳やサッカーなど掛け持ちをしている子どもも多い。週1回、1時間半の練習のなかで、走る練習は全体の3分の1、3分の2は、ボールを使ったりして、いろんな動きをすることに時間を割いている。やらせるのではなく、子ども達の意向を確認しながら、ゲーム感覚でやる気を引き出していたのが印象的だった。守屋コーチは、スポーツを通して笑顔になっほしいという。なぜなら、笑顔は周りも笑顔にする力があるから……。

運営しているエスピーホープでは、県内各地で陸上教室を開催しメンバーを募集している。詳しくは「株」アスレチッククラブ・エスピーホープ」

TEL 0766(54)0015 ・メール toyamaspmail@yahoo.co.jp



冬季五輪の魅力を報道写真で 青木紘二さん写真展

魚津市出身の写真家・青木紘二さんが冬季五輪を撮影した「冬季オリンピック 報道の世界〜1984サエボから2018平昌まで〜」は11月25日まで、高岡市のミューゼふくおかカメラ館で開催されている。

青木さんは1976年からカメラマンの仕事を始め、欧州を拠点に活動する。写真代理店「アフロフォトエージェンシー（のちのアフロ）」を設立。夏冬合わせて18大会の五輪取材した。

展示作品はソチ、平昌の両五輪で金メダルを獲得した羽生結弦、バンクーバー五輪銀メダリストの浅田真央らフィギュア界のスター選手のほか、スピードスケートの小平奈緒、カーリングの日本女子などさまざまな競技にわたる。スピード感あふれる雪氷の世界に触れていただきたい。入館料無料。



・ミューゼふくおかカメラ館ホームページ
http://www.camerakan.com

日本リーグ2年目、上位進出へアランマーレ

9月、日本ハンドボールリーグが開幕、射水市のプレステージ・インターナショナルアランマーレが2年目のシーズンに挑んでいる。1年目の昨季は、9チーム中最下位。巻き返しに燃えるチームを引っ張る新主将でゴールキーパーの安田純恵選手に話を聞いた。「キャプテンとして、まだまだチームを引っ張れていない、頼りない自分をみんなが支えてまとまってくれている」と自己評価は辛口だ。【13Pに関連記事】

チームは6月から韓国人コーチ・金基成氏が合流したことで、勝ちにこだわら、走るハンドボールを徹底している。今は、ディフェンスが安定すると、落ち着いていい攻撃ができていくが、まだ不安定。開幕戦の北國銀行戦も前半ディフェンスが安定したことでリードしながら、後半は自分たちの形をつくらせてもらえなかった。ただ、上位との差は着実に縮まっている。

今シーズンの目標は5位以上。安田は、「欲張らず冷静に、監督、コーチの教えを信じて、やってきたことを出していけば上位にも追いつける」と前を向いた。文・写真 TOM

▲年内ホームゲーム日程▼

11月10日（土）14時〜 VS大阪ラヴィッツ

（富山市八尾スポーツアリーナ）

11月11日（日）14時〜 VSHC名古屋

（富山市八尾スポーツアリーナ）



県内のスポーツ情報をお待ちしております

富山発のスポーツメディア

Truth

Find us on Facebook

https://www.facebook.com/aspo.truth

アスポとやま



原稿・写真（画像）は左記メールアドレスまで、よろしくお願ひします。なお、体裁に合せたリライトは編集部でさせていただきます、ゲラチェックはありません。

アスポとやまメール nisenen@tspotoyama.com

『Truth』冬号掲載ニュースの締め切りは2018年12月末

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

Tスポとやま 賛助会員の皆様(2018年10月15日現在)

【法人会員】

けやきひふ科、タイセイツアーズ、富山信用金庫、三進堂、藤田内科クリニック、岡崎工機、伸栄商会、日伸精機、山崎機工、富山機械工業センター、富山技販、荒井学園、パレススポーツクラブ、東亜電工、KANAYA、津根精機、五省会 西能病院、北陸機材、前川歯科クリニック、ユニゾーン、立山科学工業、千山道場、ジャストドゥイット、ヤマヒデホーム、富山県総合警備保障、高岡スポーツユナイテッド、ホテルよし原、バイエルンスポーツ、まちづくりとやま、JUMP MARUYAMA、クラブJoy、高岡金網、あおい接骨院、カターレ富山をサポートする会、すき焼はやし、富山ベースボールクラブ、高岡市水泳協会 (順不同)

【個人会員】

伊井朋幸、吉野栄樹、鷲田真琴、有澤渉、尾畑達彦、尾畑美奈、坂本博志、松井洋、中川浩一、土肥正秀、夏野義一、高岡茂樹、面谷太志、田中一郎、松本裕典、南部政樹、田村勉、田村恵子、澤田利浩、福井良、小沼憲子、嶋田利隆、大辻保、牧内直哉、江川正光、松島公裕、松下和磨、加藤進也、北井誠、末吉正道、北川悠介、大谷由里子、南雲公子、谷崎文保、伊東与二、大家芳夫、東軒一虎、沼田秀樹、中田憲昭、宮原稔、田中厚、谷内浩仁、木内岳夫、横嶋好子、細川祐司、松本壽夫、酒井久仁夫、吉田義夫、清田義之、中田勝久、桑崎喜浩、高森勇、森通、成瀬昌朗 (敬称略、順不同)

【編集後記】

・KUROBEアクアフェアリーズにやってきたベルギー代表フレヤ・アールプレヒト選手にこれからの夢を聞くと、「東京オリンピックに出ること」と話してくれました。東京オリンピック開催まで2年を切りました。「Truth」は、夢を追うアスリートの姿を追い続けます(松井)

・2020年東京五輪まで2年を切りました。あらためて開催の意義について考えています。「アスリートファースト」という言葉はよく耳にするようになりましたね。身近なところで、スポーツを楽しむ環境は変化していますか。子どもたちと本気で向き合う指導者、審判員や運営ボランティアといった支える皆さんは尊重されていますか(赤壁)

・「Truth」でも紹介させていただいたカターレ富山初代主将「はまやん」こと濱野勇気氏の長男、心温(しおん)君がまた新たな挑戦をスタートさせる。FCバルセロナキャンプでMVP受賞後、その後の動向が注目されていたが、ヴァリエンテ富山を経て、なんと!FCバルセロナとバイブを持つヴィッセル神戸の下部組織に入団する予定だ。神戸経由バルセロナへの挑戦は続く(金森)

・乾真大投手のインタビューでは、その声からもこの1年の充実感が伝わってくるようでした。よくしゃべるとプロフィールにあった通り。気持ちよく答えてくれ、爽快感を味わいました。これからも応援し続けていきたい選手がまた1人増えました(土田)

・高校野球では毎年、投手の酷使が問題になっていますが、少年野球でも同じ事が言えます。各チームは出場する大会数の見直しが必要かもしれませんし、1チームの選手数を確保するために新たなチーム編成も考えていかなければいけない時期に差し掛かっているのかもしれない(中沖)

・ラグビー・ワールドカップ(W杯)招致やスタジアム建設に尽力してきた「スクラム釜石」代表・石山次郎さんの講演を聴きました。「W杯開催は復興のための手段の一つ」という言葉の後は、「にすぎない」という思いがあるように感じます。東北の復興もままならぬうち、全国各地で自然災害が相次いでいます。スポーツが支援の力の集結の一助になることを願っています(若林)

NPO法人 Tスポとやま 富山初のスポーツマガジン「Truth」発行・運営

TEL:080-3461-5959 E-mail:nisennen@tspotoyama.com

HP : <http://tspotoyama.com/>

Facebook : <https://www.facebook.com/tspo.truth>

顧問: 田中一郎

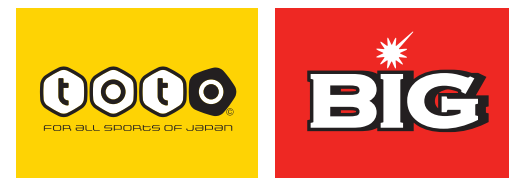
STAFF: 赤壁逸朗/金森正晃/久留健太郎/小林永/坂野上満/土田由香里/中沖紘一/永森茂/松井克仁
若林朋子

DESIGN:glic株式会社

誰もが世界一になれるわけでもない
誰もが日本代表になれるわけでもない
それでも人はスポーツをする
昨日の自分に追い越されないために
明日の自分を追い越すために
スポーツに鍛えられた人生は
勝っても負けても きっと負けない

スポーツは、自分を超越するためにある。

スポーツくじ



スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。